

題材 「美と力」 ○○時間中の第○時

(1) 学習のねらい

2人技が曲に合わせてどのくらいできるのか試したい子どもたちが、テンポを遅くした「鐘のなる丘」で演技するを通して、テンポが速くなるにつれて余分な動きを省く必要があるということや音楽の歌詞に注目すると音楽に技が合いやすいということに気づき、仲間と共に曲に合わせて演技する楽しさを感じることができる。

(2) 本時の学習材

テンポを遅くした「鐘のなる丘」

- 子どもたちは前回2人技に挑戦し、次は曲に合わせてみたいと思っているが、いきなり通常のテンポの曲に合わせて演技することには少なからず不安を持っているだろう。そこで学習材を提示する。
- 本学習材は「テンポを遅くした『鐘のなる丘』」である。この曲で演技することを通して子どもたちはゆっくりな曲であれば演技をしやすいということを感じるとともに、速いテンポの曲に合わせて演技するためには余分な動きを無くさなければいけないことや曲の歌詞に注目することで技が曲に合いやすいことに気づくことができるだろう。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 曲をつけて演技することに対する自分の気持ちを確認する	・まだ不安… ・もう絶対できる！ 学習問題 曲に合わせて演技するにはどのようなことが必要になるだろう。	15	○曲をつけて演技することに対して不安があるかどうかを確認する 学習材 テンポを遅くした「鐘のなる丘」
	2 曲を付けて演技するためには何が必要かということを考える	・速く技を決める ・曲をしっかり聞く ・歌詞に合わせる 学習課題 テンポの遅い曲に合わせて演技をしてみよう！		○曲を付けて演技するために必要なことを全体で確認する ・ペアの人とどうしたら速く技を決められるかなどと作戦を立てながらやることが大事であると伝える ○子どもたちの様子をみながら危険がないかどうかを確認する ○上手くいっていないペアがいたらその理由を一緒に考える 評価 曲に合わせて演技することの楽しさを感じることができるか。仲間と試行錯誤しながら技を成功させようと努力しているか(ノートから)
展開	3 テンポを遅くした「鐘のなる丘」に合わせて演技する。	・遅い曲は簡単だよ ・速くなると間に合わない… ・私たちの無駄な動きって何だろう ・曲を付けると楽しい！	25	
終末	4 振り返り	・普通の速さでもできた！ ・ゆっくりならできたんだけどな… ・曲に合わせるって楽しい！ ・曲に合わせるって難しい…	5	○今回の授業でどのくらいできたのかを確認する ○次回やりたいことを子どもたちと確認する